



# 松徳新聞

2023年 1月号

発行所：松徳新聞編集室 〒580-0032 松原市天美東7丁目13-26

## HEAD LINE

- P.2 新年のご挨拶
- P.4 TMAT(徳洲会災害支援チーム)に新メンバー加入!
- P.5 松原中央病院だより/初期研修医の紹介
- P.6 クリスマス会/今月の作品
- P.7 これなう!/各部署の紹介/今月のレシビ
- P.8 公開医療講座&オンライン医療講座



# 謹賀新年



旧年中は大変お世話になりました  
本年もよろしくお願ひ申し上げます

令和5年1月

新年あけましておめでとうございます。  
旧年中は大変お世話になり感謝申し上げます。  
当院は今年、徳田虎雄先生がこの松原市河内天美の地に徳田病院を開院してから50年を迎えます。徳洲会グループの正に最初の病院です。現在徳洲会は全国に74病院、32診療所、40介護老人保健施設、60訪問看護ステーション、15グループホーム、13特別養護老人ホーム、12福祉施設。関連施設として湘南鎌倉医療大学、仙台徳洲会看護専門学校なども擁しています。これも地域のみなさまの支えと、応援のおかげです。心より感謝申し上げます。

また今年度は、現在建設中の介護老人保健施設徳洲苑も9月に新築移転する予定です。より皆様に利用しやすく、快適な環境を整えられるよう職員一同燃えております。またそれと同時に、松原中央病院も松原徳洲会病院への合併に向けて進めていく予定です。徳洲会グループの理念である

「生命を安心して預けられる病院」  
「健康と生活を守る病院」

の実践に向け、励んで参ります。  
皆様方にとりまして、より良い年でありますよう心より祈念申し上げます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



院長  
吉田 毅



院長 新年のご挨拶



# 新年のご挨拶 令和五年



副院長  
外科部長  
**森田 剛史**

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈り申し上げます。早いもので令和になってもう5年目です。コロナ禍の自粛や移動や会話が減ってスマホやタブレットでのやりとり、電子マネー決算など、デジタル化は便利ですが、映画マトリックスの世界で生きている様な気がします。

デジタル化といえば、サッカーワールドカップでの『三苦のミミリ』は、すごかったですね。20台のカメラとボール内蔵センサー、画像処理AIを備えたVARと3Dアニメーション、日本人としては喜びましたが、ドイツ側の『アウトでは?』をYouTube動画で世界中の人を納得させたのです。(納得していなくても反論しにくい)

それでも理論物理学者は『物質の正確な位置と存在はミクロの世界では確定不能(量子理論)』と云うでしょうし、法律学者は『AIのプロトコールが公開されなければ判定の公平性には疑義がある』と主張するかも知れません。

コロナ第8波を迎えています。ワクチン開発、治療薬開発も進んでいます。新たな変異株も出現し、最近はそもそも私達人類のDNAがかなりウィルスRNA由来だと分かっています。私達は感染



院長  
内科部長  
副院長  
循環器  
**川尻 健司**

どころか、遺伝子レベルでかなりウィルスと同じなのです。

『正確さ』を追い求めると、究極的にはそんなものは存在しないのかも知れませんが。スポーツや科学の進歩を楽しむアナログなゆとりをもつてほしいですね。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。新年の漢字は『戦』となりましたが、『戦』から私の尊敬する戦国武将 真田信繁の残した言葉に「夢をつかんだ奴より、夢を追っている奴の方が時に力を発揮する」とあります。

昨年は考えさせられるニュースや出来事が多くあり、皆様にとつてどのような年であったでしょうか。私は新年に目標をひとつ立てるようにしております。信繁が残したように目標や夢を追うことが活力になり力を得ることが時にあります。

不安を感じた時などは、自分自身が何を求めているか明確にすることで心が軽くなる事や道が開ける場合もあります。今年皆様も何か目標を立ててみてはいかがでしょうか。

皆様にとつて幸多き年となりますように心よりお祈り申し上げます。



副院長  
神経外科部長  
**大山 憲治**

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈り申し上げます。早いもので脳神経外科開設後10年が経過しました。この地域において脳脊髄関連疾患の診療に少しは貢献できたと思っておりますが、今後は24時間365日対応できるよう努力していく所存です。

当院は昨年4月癌拠点病院の認定を受けることができ、脳卒中含めた循環器疾患+癌疾患という、国が最も力をいれている2大疾患の診療拠点病院として新たなスタートをきりました。

来年度は松原中央病院との合併にもない、徳洲会発症の地、松原徳洲会病院は急性期病棟60床を加えて計249床の大病院に生まれかわります。

どんな患者さんも断らない、を基本理念とする救急診療に加えて、癌診療という一見相反する疾患の診療を行うためには、さらなる地域の信頼とスタッフの充実が喫緊の課題です。

いくら忙しくてもずっとこの地、この病院で働き続けたい病院であるよう、皆で頑張りましょう。



外科顧問  
**古河 洋**

昨年は3年続いた新型コロナウイルス感染症とその対策に追われました。そんな中で松原徳洲会病院は「大阪府がん診療拠点病院」に指定されました。従来から松原市にはがん拠点病院がなく、大阪市などに行かれていたものと考えます。しかし、当院がコツコツすすめてきた「がん専門医療」がようやく大阪府に認められました。専門医を増やし標準以上のがん治療をすすめています。

癌の診断、治療(手術、抗がん薬治療、など)、治療後のフォローも先輩のがん拠点病院に負けない内容で頑張っています。同時に緩和看護認定看護師2名と専門がん相談員2名を加えて、がん患者さんの治療がより受けやすくなりました。理解・納得して受けられるようになりました。がんについての悩み、問題、何でも相談してください。

大阪府は「癌死亡比」が全国47都道府県中43位(ワースト5)、がん検診受診率はワースト1か2です。まず、がん検診を受けましょう。早期発見早期治療によって「癌死亡」はもっと減少するはず。私たちは検診、診断、治療、フォローを一貫して担うことができます。是非、松原徳洲会病院が「大阪府がん診療拠点病院」であることを知っていただき、市民のみなさんと一緒に「癌死亡を減少させて」、ワースト5を返上し、「ベスト8以上」を目指したいと願っております。

令和5年が皆様にとつて健康で余裕のある年になりますことをお祈りいたします。



事務長  
藤田 元幸

新年あけましておめでとうございます。昨年度も新型コロナウイルス感染症の対応に追われる年でありました。しかしながら、重症度の変化や感染対策の経験を得て、未知なるものではなく、インフルエンザのような日常的に起こりえる疾患になりつつあります。現在は5類感染症に移行する検討も行われており、非日常が日常へと変化していきます。

当院も、新型コロナウイルス感染症対応を継続しながら、当院の方針である「救急医療は断らない」を合言葉に、救急受入や発熱外来、コロナワクチン接種などを実施させていただきました。本年も引き続き、医療の質の向上ならびに機能向上に向けて、職員一同精進してまいります。

現在進めております、介護老人保健施設松原徳洲苑の新築工事も順調で、2023年9月のサービズ開始予定に向けて進めております。また病院機能としても病床工事、院内改修を検討しており、少しでも療養環境などの向上ができるよう進めて参ります。

今後も地域医療に貢献できるよう、職員一丸となって取り組んでまいります。皆様のご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



看護部長  
藤澤 典子

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。

### 兎の毘に狐がかかる

思いがけない幸運や収穫を得ることのこわさです。

昨年度は大阪府がん拠点病院や特定行為研修施設などを取得し、地域の方々にお役に立てる収穫を得ることができました。

来年度はグループである松原徳洲苑が近隣に移動し、松原中央病院60床と合併予定です。思いがけない幸運（病床）を地域の方々のために役に立てるようしっかりと準備していきたいと思ひます。

これからも徳洲会の理念を実行しつつ、看護部では「丁寧な看護・ケア」ができるよう努めてまいりたいと思ひますので、今後ともご指導の程よろしくお願ひいたします。



松原徳洲苑  
事務次長  
保田 宜史

新年あけましておめでとうございます。念頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年一年の世相を表す漢字一文字は「戦」でした。ロシアのウクライナ侵攻による「戦争」や円安・物価高による日常生活での「戦い」が今も続いています。新型コロナウイルス感染症との「戦い」もワクチン接種により幾分か安心を感じる事ができるようになりましたが、まだまだ気を許すことはできない状況です。

今年には昨年より新築移転の建設を始めさせていただいております。施設が完成し、秋には引越しをし、継続したサービズの提供を予定しております。

今年の干支である「卯」年は何かを開始するのに縁起がよく、希望があふれ、景気回復、好転するよい年になると言われているそうです。

地域の皆様には大変ご迷惑をお掛けしておりますが、卯年での新築移転がよい年となり、以降も地域の皆様に愛され貢献できる施設となれるよう職員一同邁進していきたいと考えております。

皆様にとって今年一年幸多き年になりますよう心よりお祈り申し上げます。本年もよろしくお願ひいたします。



松原中央病院  
院長  
木野 博文

新年、明けましておめでとうございます。日本漢字能力検定協会が選んだ昨年の漢字は「戦」でした。ロシアのウクライナ侵攻により、「戦」争の恐ろしさ、円安・物価高による生活上での「戦」い、スポーツでの熱「戦」・挑「戦」が注目され、選ばれたとのことでした。

新型コロナウイルスが流行して早や3年が経ちましたが新型コロナウイルスの「戦」い、はまだ収束しておらず、早く諸外国のように行動制限を行わない生活に戻れることを熱望しております。

松原中央病院においては、昨年は病院の玄関の自動扉化と病室のベッドの電動化で患者様が少しでも快適な入院生活を行えるように改装を行いました。また、今年の4月には新型コロナウイルスのため中止していた日曜検診も行う予定です。

地域の皆様の健康維持にお役に立てるよう職員共々努力していく所存です。今年には皆様にとって良い年になります事を祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。



# TMAT（徳洲会災害支援チーム）に新メンバー加入！ 若い力が3名加わりました

今回、TMAT（徳洲会災害支援チーム）国内災害派遣コースを実施しました。当院からは、3名（看護師、リハビリ、事務）が参加。災害への心得や、コロナ禍での現場での対応を学びました。今後、彼女達の活躍に期待しております。

TMATは、避難所支援に力を入れています。松原市住民の方をはじめ、全国の方々が安心できるような寄り添う災害支援を目指しております。今後ともご支援よろしくお願い致します。

## 《TMATとは》

TMAT（特定非営利活動法人）は、世界の人々の生命と健康を守るため、医療・災害支援・教育などの総合的な医療支援を各国政府やNGO、地域団体と協力しながら活動しているNPO団体です。

## 《主な活動》

世界の人々の生命と健康を守る為、医療・災害支援・教育などの総合的な医療支援を各国政府やNGO（非政府組織）、地域団体と協力しながら、「国連NGO」として活動を目指しています。



講師のICU西村主任と記念写真



受講風景



記念Tシャツと修了書を頂きました



地域連携室  
金田 玲音

今回、災害医療の中でロジスティック（医療行為以外での後方支援）として研修に参加させて頂きました。被災地ではその場での情報管理や資源管理が救護活動にあたってとても重要である事を知りました。何か力になれる時はこの研修で学んだことを活かしていきたいと思っております。



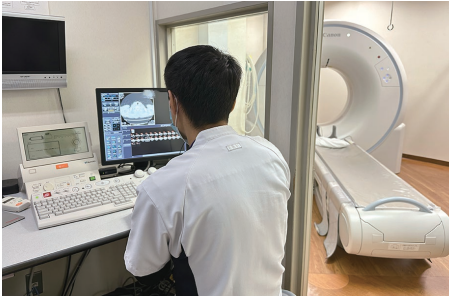
ICU 看護師  
山根 明

活動の場が病院だけではもったいない。と思い、本研修を受講しました。災害時には、視野を広げて物事を考えていく重要性和難しさを学びました。また、支援のために、チーム内で討議し活動していくことはチーム医療の真髄だと感じました。今回の研修を通し、災害時にも対応できる看護師を目指します！

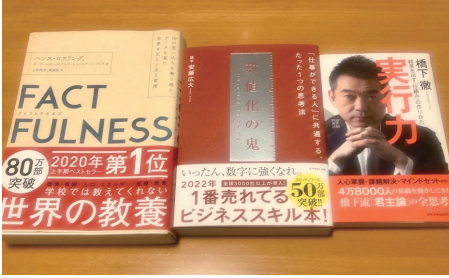


理学療法士  
家口 輝

元々、災害医療に興味がありましたので刺激になりました。他院からも様々な職種が参加されており、机上訓練では実際の活動について他職種と一緒に議論しました。今後は災害医療にも貢献できるように頑張ります。



普段の仕事風景



この3冊です！

患者様と会話をすることもよくあります。以前より患者様の話を聞いたり会話をすることが楽しくなりました。

最近、ある知り合いが読書にはまったらしく、話をしていると私と同じ感覚を実感していました。その彼おすすめの本が、「数値化の鬼」。早速購入して読み始めたところですが、また新たな体験ができそうです。

「なにこれおもしろいじゃん！ってどうか本おもしろっ！」読み終えた時、そう感じるとともに、今まで読書をしなかつた自分に激しく後悔しました。内容はもちろん面白かったのですが、初めて「読書をしましょう」の

「なにこれおもしろいじゃん！ってどうか本おもしろっ！」読み終えた時、そう感じるとともに、今まで読書をしなかつた自分に激しく後悔しました。内容はもちろん面白かったのですが、初めて「読書をしましょう」の



松原中央病院 放射線科

嶋 久 孝

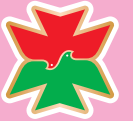
よく「読書を  
しましょう」と  
いうワードを  
見ます。  
私は数年前

意味が分かった気がしました。読書のきっかけを作ってくれた橋下徹さんに感謝！

読書の楽しさや大切さに気づいて数年、いろいろ読みましたがその中でも衝撃的だった1冊は「FACTFULNESS」です。2020年上半期ベストセラー第1位の本です。この本は読者に対して最初に世界の事実に関する13の質問をします。誰でもなんとなく答えをイメージできる質問なのですが、自分の出した回答はほぼ「はずれ」でした。家族や友人にも回答してもらいましたが、同じくほぼ「はずれ」でした。自分のイメージしている世界が事実とあまりに違いすぎる…なぜ？

この「なぜ？」という体験をきっかけに、物事に対して表面的なことだけを見ないで深掘りしたり、自分と違う考えや思考に興味をもつようになりました。職業上、

# 松原中央病院だより



## 初期研修医の紹介



阪南中央病院 大野 有里恵

はじめまして。阪南中央病院所属、初期研修医1年目の大野 有里恵(おおの ゆりえ)と申します。外科と救急科にて、2023年3月5日まで研修させていただきます。ご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、一生懸命頑張りますのでご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



## 謹賀新年

本年もどうぞよろしく  
お願いいたします

松原徳洲会グループ 職員一同

# にじいろ保育園 クリスマス会



## サンタとトナカイが やってきた!?



令和4年12月21日、にじいろ保育園にてクリスマスパーティーを開催！ サンタとトナカイ2人で、遊びにいつてきました！

「サンタさんはどこからきましたか？」「すきな食べ物のは？」と興味津々。たくさん質問をしてくれました。そんな楽しみに待っていてくれたみんなに、サンタとトナカイからは一人ずつ、おかしなプレゼント♪ 園のみんなからはお返しで【あわてんぼうのサンタクロース】と【北風小僧の寒太郎】を歌ってくれました！

他にもサンタとトナカイを待っているお友達がいっぱいいるから、長くは遊べなかったけど、みんなにとっと思いいに残るクリスマス会になったかな？ また来年も遊びに行くね〜！



サンタ&トナカイ



皆で記念にはいチーズ



サンタさんからお菓子のプレゼント♪



ハッピーメリークリスマス☆

# にじいろ保育園 今月の作品



今月のテーマは

「あけましておめでとう」



たのしいちねんになりますように…とねがいをこめてつくりました。



my土鍋

我が家では2年ほど前から、ご飯は土鍋で炊いています。それまでは電気炊飯器を使っていたのですが、学生時代にバイトしていた料理屋のまかないで食べていた土鍋で炊いたご飯の美味しさを思い出し、炊飯器の買い換えを機にネットで調べ「伊賀焼の土鍋」に替えました。

伊賀の土には、貝などの化石がたくさん含まれているそうで、土を成形し窯で焼いた際に含まれている化石は燃えてしまい空洞ができるそうです。この空洞で土鍋が呼吸をし、ふっくらおいしいご飯が炊けるそうです。土鍋で炊くと、炊き立ては勿論ですが、冷めたご飯を温めても美味しいです。

私は毎晩お酒を飲むため、以前はあまりご飯を食べなかつたのですが、今では毎晩ご飯を食べるようになりました。そのためか、徐々に腹部がたるんできています。今では高性能な炊飯器も色々と販売されていますが、私は生涯「土鍋」で通したいと思っています。

今回は土鍋の紹介でしたが、機会があれば美味しいお米も紹介したいと思います。

良い土鍋 + 美味しいお米 = 最高です。



## 各部署の紹介 4階南病棟

4階南病棟は、内科、呼吸器内科、循環器内科病棟です。

内科では、主に肺炎、電解質異常の患者さんがいます。呼吸器内科では、COPDや気管支喘息など呼吸状態の観察を要する患者さんがいます。時にはNPPV（非侵襲的陽圧換気療法）やネーザルハイフロ



ー、ベンチユリーマスクを使用し、酸素量の調節等その患者の機能に合わせた看護、治療を行っています。循環器内科では、心不全、心筋梗塞や狭心症等の虚血性心疾患の患者がいます。それに対しPCI（経皮的冠動脈形成術）を行います。PCI後の患者に対しては、退院後の生活に留意点など指導を行っています。

病棟の特徴としては、治療内容に点滴や内服、経管栄養が多いことも特徴の一つです。そのため看護師は、点滴内容に間違いがないか常に見ており、ダブルチェックを欠かしません。また、多病棟と比べ、患者さんの入院日数が長いこともあります。そのため患者さんとのコミュニケーションを取れる場が多くあります。コミュニケーションを通して、患者さんの考えや気持ちをくみ取り看護に繋げていく事が出来ます。

4階南病棟のスタッフは、皆明るく親しみやすいです。普段はマイペースでゆっくりしている人でも何かするとなれば協力的です。1番オムツ交換のときが協力だと思っています。

また、全員のアセスメント能力や知識量を増やすために昼のカンファレンスのときに、先輩から後輩に向けての勉強会を開いたり、病態の悪い患者さんの情報共有を行い、全員で一人の患者さんの状態把握をしています。

ご意見、ご感想は  
松徳新聞編集局まで

TEL: 072-334-3400  
FAX: 072-332-3512  
メール: info-matsubara@tokushukai.jp

Facebook

Instagram



ご登録をお願いします!

松徳新聞 2023年1月号

●編集責任者: 阪口 昇二

●編集委員: 秋田 直樹

渡邊 成喜

橋本 直幹

金田 玲音

小林 永治

小川 誠

武島 誠

ホームページ



## 今月のレシピ

監修: 栄養科

### サーモンのコンフィ



#### 【材料】

サーモン (刺身用)	300g
a 冷水	360cc
a 塩	36g
a 砂糖	18g
b オリーブオイル	大さじ2
b 塩	少々
b 砂糖	少々
b ローズマリー	少々
c オリーブオイル	大さじ1
c 砂糖	少々
c バルサミコ酢	大さじ1



#### ★調理工程★

- ①aとサーモンをバットに入れ、冷蔵庫で1時間漬込む。
  - ②①をとりだしてキッチンペーパーで表面の水気を拭き取る。
  - ③②とbをジップロックに入れる。
  - ④炊飯器に45度のお湯を注ぎ、③を入れ空気を抜きながらジップロックの封を閉じる。
- 保温にした状態で30分置く。
- ⑤④をお湯から引き揚げたら、冷水で締める。
  - ⑥小さいボールにcを入れ、とろみがつくまで混ぜる。
  - ⑦⑤をそぎ切りにし盛付け、⑥をかけお好みで野菜を添える。

# 公開医療講座 & オンライン医療講座

2023年

# 1月

※各講座はホームページから自由に参加出来ます



※画像は、スマートフォン版です。

**オンライン医療講座は**  
Web会議ツール「Zoom」ソフトを使用いたします。  
みなさまには事前に「Zoom」のダウンロード等をお願いいたします。



## 会場とZOOM 同時開催 入場無料

●1月11日(水) 14:30～ ZOOM同時開催  
会場:藤井寺市立市民総合会館(パープルホール) 4F 中会議室A  
**ドライマウス・口腔乾燥症・唾液の話**  
講師/歯科口腔外科部長 **竹内 憲民**

●1月12日(木) 14:30～ ZOOM同時開催  
会場:まつばらテラス(輝) 3F 多目的ホール  
**あなたの血管は大丈夫?**  
～動脈硬化による病気とその予防～  
講師/大動脈ステントグラフト血管内治療科部長 **阪口 昇二**

●1月19日(木) 14:30～ ZOOM同時開催 NEW  
会場:羽曳野市立生活文化情報センターLICはびきの 2F パソコン教室  
**身近にあるがん/救急とがん**  
講師/外科顧問 **古河 洋**

●1月20日(金) ZOOM同時開催  
会場:まつばらテラス(輝) 3F 多目的ホール  
**心不全と共に生きる 14:30～**  
～地域で生きるための施策～  
講師/心臓血管外科 **浅沼 舞**

**地域包括支援センターについて 15:30～**  
講師/地域包括支援センター センター長 **森泉 奈津子**

●1月23日(月) 14:30～ ZOOM同時開催  
会場:羽曳野市立生活文化情報センターLICはびきの 2F 中会議室B  
**肩の痛みの自己管理**  
講師/整形外科部長 **仁丹 克則**

## ZOOMのみ開催

●1月21日(土) 14:00～ ZOOMのみ開催  
**【糖尿病教室】**  
①誰でも解る食事療法 講師/管理栄養士  
②これで納得、糖尿病の検査 講師/臨床検査技師

●1月24日(火) 14:30～ ZOOMのみ開催  
**CTで見る怖い病気**  
～知らずに撮れるか! CT検査～  
講師/放射線科 **田中 翔真**

●1月26日(木) 14:30～ ZOOMのみ開催  
**腎臓病になるとどうなるの?**  
～透析の合併症について～  
講師/臨床工学技士 **西尾 光司**

●1月28日(土) 14:00～ ZOOMのみ開催  
**【糖尿病教室】**  
①どんな薬があるの? 解りやすい薬の話 講師/薬剤師  
②やってみよう! 運動療法 講師/理学療法士

●1月31日(火) 14:30～ ZOOMのみ開催 NEW  
**《がんセンターについて》**  
①がんに負けない食事 講師/管理栄養士 **藤村 千紗**  
②病院でかかるお金 ～高額療養費制度編～  
講師/認定がん専門相談員 **藤井 友紀子**

松原徳洲会病院 地域医療連携室

松原徳洲会病院 検索 TEL:072-334-3400

◎会場では感染予防のため、マスク着用と手指消毒をお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染状況により、イベント内容が変更または中止となる場合がございます。